

社会人野球申し合わせ事項

(2018年)

1. 試合中、次打者以外はグラウンド内で素振りをしない。ベンチ裏の専用スペースを利用する。
また、次打者も投球時には低い姿勢で待機すること。
2. 試合中の外野方面へのランニングは、イニングの合間のみとする。
ただし、プレイがかかる前には全員がベンチ内に戻ることに。
3. お互い社会人として程度の悪い野次は厳重に慎むこと。
4. スピードアップに関する監督申し合わせ事項を遵守する。
5. ベンチへ持ちこむメガホンは2個までとし、監督・コーチ等(選手以外)が指示を出す場合のみに使用を限定する。
6. 選手のリーダーが音頭を取り、声を揃えて拍手をする行為は自粛すること。
7. 出迎えを禁止する。
(1) 本塁打・選手交代・攻守交替などベンチから出た出迎えを禁止する。
(2) 1・3塁ベースコーチは、ホームランを放った打者走者を出迎えるためにホームベース付近へ行くことを禁止する。
8. ロージンバックを多用する投手については、審判員がユニフォームのズボンのポケットにロージンバックを入れるよう指示する場合がある。ただし、その投手がマウンドを降りる際には、元の位置(投手板付近)にロージンバックを戻すこと。
9. 投手交代の際、それまでブルペン等で新たに登板する投手のボールを受けていた捕手は、試合に出ている捕手に対し、アドバイス等のために近寄らず、すみやかにベンチへ戻ること。
[監督・コーチ(ベンチからのアドバイス)の指示と同様と判断し、タイムの回数にカウントすることもある。]
10. 5回終了時のグラウンド整備は行わないこともある。
11. 次打者のウェイトイング・サークルには、マスコットバット・ロージンバック・バットスプレー(各1個)以外のものは持ちこまない。(球場があらかじめ用意しているものは除く。)リング、鉄棒、木製の長尺のバット、及び金属製のマスコットバットの使用を禁止する。
- ~~12. 投手の準備投球を5球以内とする。~~
- 12. 投手の準備投球は野球規則「5.07(b)準備投球」に基づくものとし、投手が投球動作にはいった時点から2塁塁審が計測する。**
13. 塁上の走者およびベースコーチが捕手または守備側のサインを盗み、打者に知らせる行為は、アンフェアであることから禁止する。
14. 走者が、フットガードやアームガード、走塁用手袋等の着脱は速やかに行うこととする。
- ~~15. ベンチ横での投手の投球および野手の送球練習はそれぞれ一組だけとする。~~
16. 内野手のボール回しを認める。(一回りのみ)ただし、試合時間が極端に長引くことが予想される場合には、球審の判断で途中からボール回しを禁止する場合もある。
17. 打者交代時、監督から球審への手法の簡素化を認める。(当該打者の背番号を見せる等)
18. すそ幅の広いストレートタイプズボンの着用を禁止とする。
19. 加盟チームは、原則として2種類のユニフォームを用意すること(上着のみでも可)とし、一塁側の場合は白、三塁側の場合は白以外の色をそれぞれ基調としたものを着用するものとする。
ただし、特別な事情があり、当該試合の主催者が認めた場合はこの限りではない。
20. 試合中、選手が装着するマウスピースは、白色または透明の色に限定する。
21. ネックウォーマーは、公式戦での使用は認めない。
ただし、ベンチ内および試合前のウォームアップ中の着用は認める。
22. 手甲ガードの使用を認める。ただし色規制は、黒またはアンダーシャツと同色の一色のみとし、商標ならびに氏名の記載などは認めないものとする。